

甲商発第4-11号  
令和4年4月15日

甲府市長 樋口雄一 殿

甲府商工会議所  
会頭 進藤 中  
甲府商店街連盟  
会長 長坂 善雄

甲府市中心市街地活性化を踏まえた  
コロナ禍における飲食店の利用に関する要望について

時下 ますますご清祥のことと存じお喜び申し上げます。当団体の諸事業につきましては、常日頃よりご指導ご鞭撻を賜り深く感謝申し上げます。

また、貴台におかれましては、この2年間Pay Payポイント還元事業などの経済対策や市民へのワクチン接種などコロナ対応にご尽力賜り改めて感謝申し上げます。

さて、昨年10月～12月ごろにかけては、新型コロナウイルス感染症第5波も落ち着きをみせ、ようやく甲府市中心市街地の飲食店等にも賑わいが戻りはじめ、更に中部横断自動車の山梨静岡間が全線開通したことにより、甲府市内を含めた県内観光地においても少しずつ賑わいが戻りつつあり、経済回復への期待感がありました。

しかし、年が明けると第6波オミクロン株の影響で瞬く間に感染が広がり、それと連動する形で甲府市中心市街地の客足も途絶え、特に飲食店や小売・サービス業においては1月から現在まで大変厳しい経営環境が続いております。

甲府商工会議所では、事業復活支援金などの公的支援金等のサポートに全力を上げて対応し、会員事業者並びに地域内事業者が苦境を乗り越えるべく支えておりますが、第6波の周期が長く飲食店を中心に体力維持も限界に近づいております。

このような状況の中、先般甲府市内を中心とした3つの飲食店団体が、山梨県知事に対して現在の窮状を訴える要望を行ったところでありますが、当団体に対しても傘下の事業者から同様の苦しい実情を訴える声が届いているところであります。甲府商工会議所といたしましてもこの声に応える形で、3月17日より「やっぱり夜も！“おうちdeグルメ”」事業をスタートして甲府市中心市街地を中心とした飲食店のテイクアウトメニュー販売をサポートしたところであります。しかし、飲食店では来店客が増えていかないと経営改善は見込めないと訴えております。幸い甲府市中心市街地には、山梨県庁・甲府市役所などの行政機関や民間企業の事務所が集積し、多くの職員や社員が働いておりますことから、これらの方々が、昼食や勤務終了後に少しずつ飲食店に来店していただくことが経済回復の起爆剤になると考えております。

つきましては、甲府市役所で働く職員や甲府市中心市街地で勤務するサラリーマン等が、グリーンゾーン認証など感染対策を十分とった飲食店を利用し易い雰囲気づくり、環境づくりに引き続きご尽力いただきたく改めてご要望いたします。